

吉

岡

お

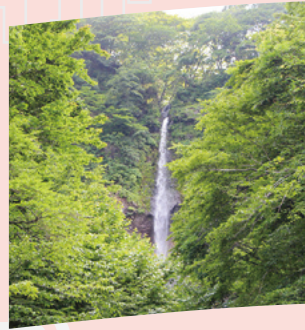
町

まち

2024

吉岡町勢要覧 2024

TOWN GUIDE



“ 思いを紡ぎ、未来につなげる
まちづくり 吉岡 ”



小倉乾燥芋



おっきりこみ



小倉のぶどう

2

特集Ⅰ

数字で見る よしおか

4

歴史の始まり

- 古代から近世まで

5

つなぐ

- 吉岡町のあゆみ

8

特集Ⅱ

New Town よしおか

10

吉岡町の 3つの「よし」

- 住みよし！食よし！憩いよし！

16

受け継ぐ伝統

- 祭りや伝統行事

18

第6次吉岡町総合計画

- 6つの基本計画『紡ぐ』

- 1 すべての住民に優しい健康・福祉施策の充実
- 2 「学びのまち・吉岡」の推進
- 3 次世代につなげる生活環境の充実
- 4 地域産業の持続的発展支援
- 5 緊急時対応への備えの充実
- 6 将来を見据えた行財政運営の推進

25

友好都市協定

- 北海道大樹町

26

吉岡町の周遊スポット

27

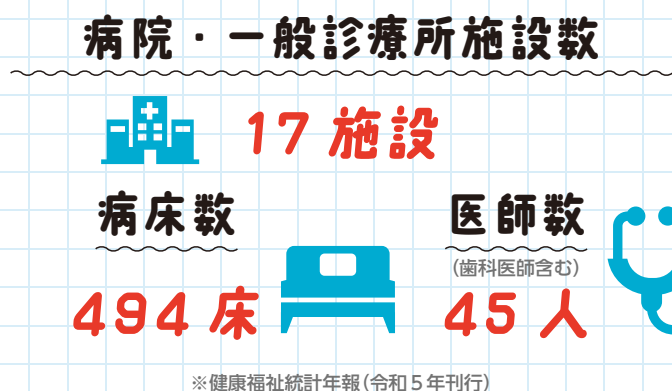
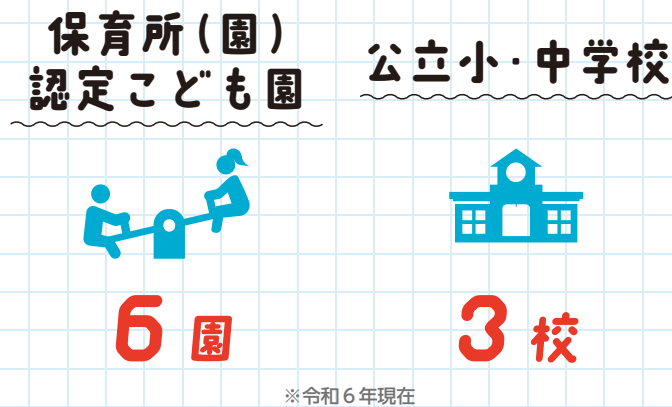
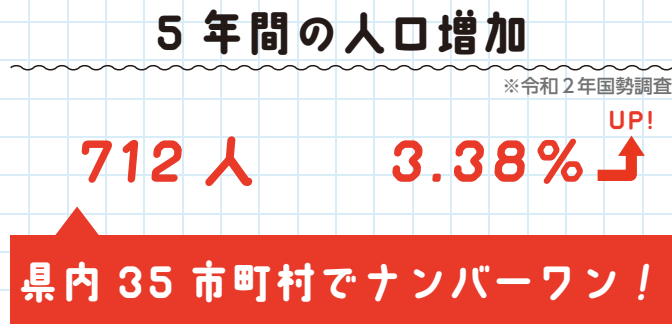
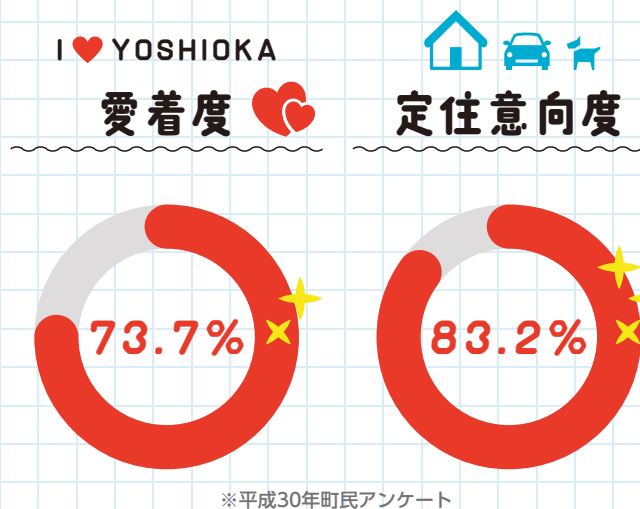
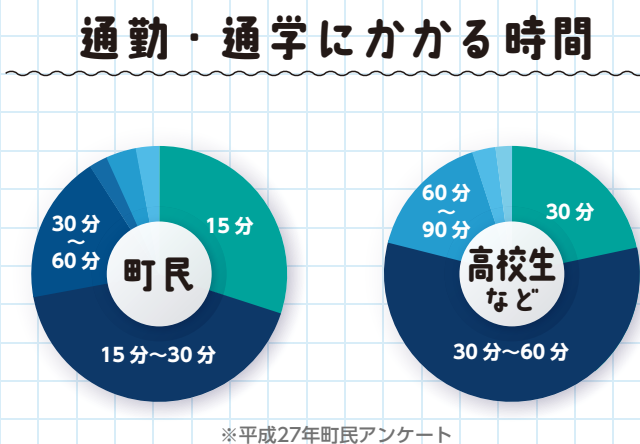
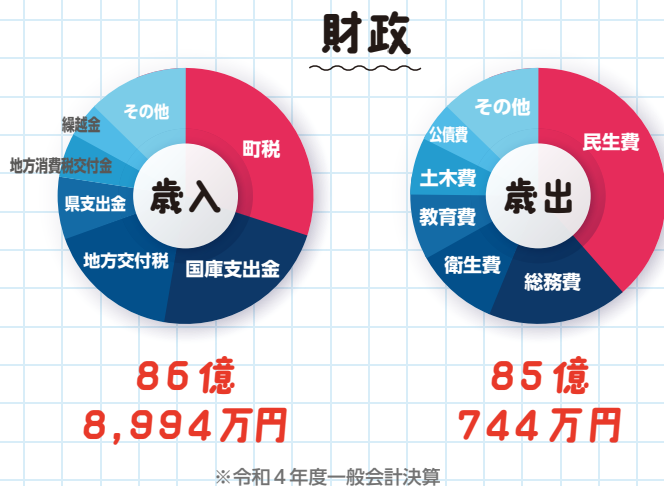
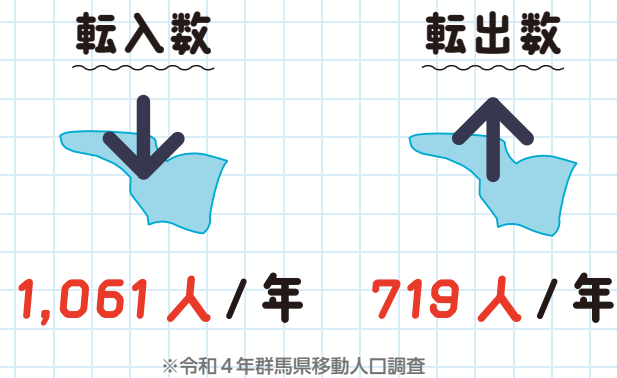
よしおかの文化財図鑑

28

よしおかで遊ぶ！観光マップ 町章・憲章



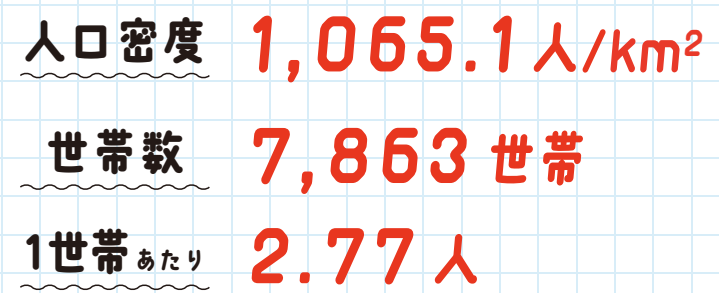
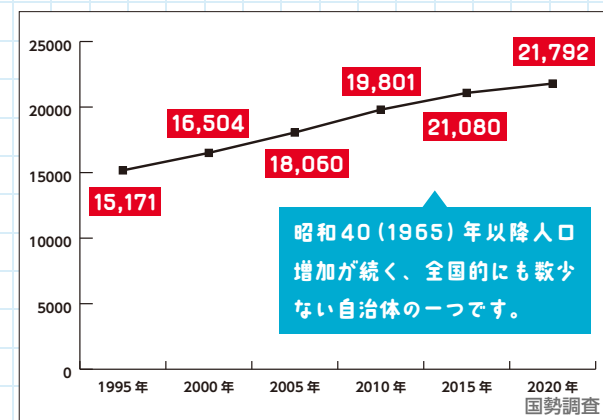
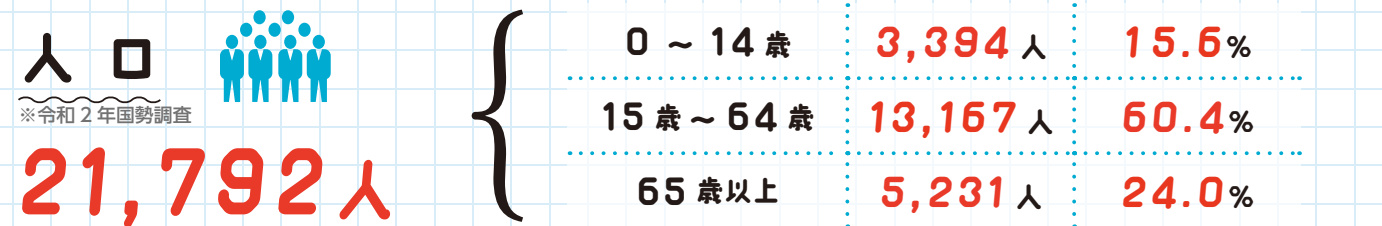
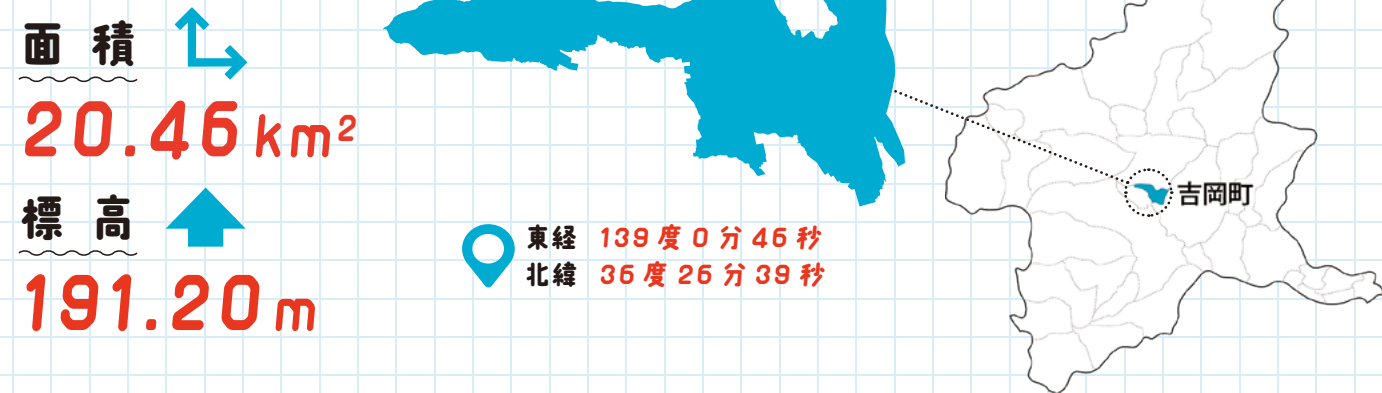
思いを紡ぎ、
未来につなげる
まちづくり吉岡



特集I

数字で見るよしおか

みんなが暮らしやすいまち、吉岡町。
そんな吉岡町に関するいろいろなデータを紹介します。



歴史の始まり

BEGINNING THE HISTORY

古代



喰を塗った跡が、千三百年以上経った現在でも残っていて、その高い学術的価値から同じく県指定史跡となっています。これらの古墳の築造には高度な技術を持った技術者が中央から直接派遣された可能性が高く、古代から中央と密接につながり、高い文化を誇っていたことが分かります。

中央とつながり

高い文化を誇った古代

吉岡町は古墳の宝庫。三津屋古墳は、七世紀後半の築造とされる八角形墳です。天皇陵と同じ形態の八角形墳は、全国的にも珍しく、県指定史跡となっています。また南下古墳群には石材加工の際に引いた朱線の跡や漆



中世の暮らし
城跡や館跡に垣間見る
中世の暮らし
中世の吉岡町近辺は桃井氏が治めました。平安時代の末期、桃井郷に藤原八郎が地頭として着任し、桃井八郎を名乗ったのが桃井氏の始まりです。跡を継いだ桃井義胤は南下の地に館を構えたと伝えられています。桃井城を築いたと言われる桃井



直常や、新田義貞の鎌倉攻めに参加したといわれる桃井尚義などの武将の名も文献に残っています。透かし彫りが見事な桃井館の欄間は、中世の名残を今に伝えていることから、町指定重要文化財となりました。桃井城跡は現在は城山みはらし公園として整備され、人々の憩いの場として親しまれています。

近世



人が行き交う宿場町

香保への湯治客の道として多くの旅人が往来していました。本陣を務めた森田家住宅などが名残をとどめています。



佐渡街道の道しるべ

野田宿本陣の森田家住宅

つなぐ

平成3年の町制施行以来
30年を経た吉岡町の歴史。



④ よしおか温泉リゾートピア吉岡開業



③ 吉岡町文化センター完成



② 小倉第2工業団地操業開始



① 町制施行・吉岡町誕生



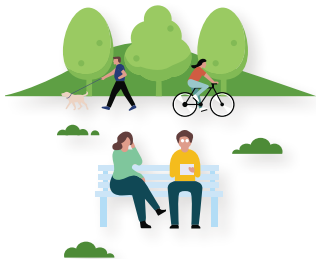
⑦ 緑地運動公園開園



⑥ リゾートピア吉岡来場者50万人達成



⑤ 上毛大橋開通





④ 駒寄小学校体育館完成



③ 城山みはらし公園完成



② 主要地方道高崎渋川線バイパス全線開通



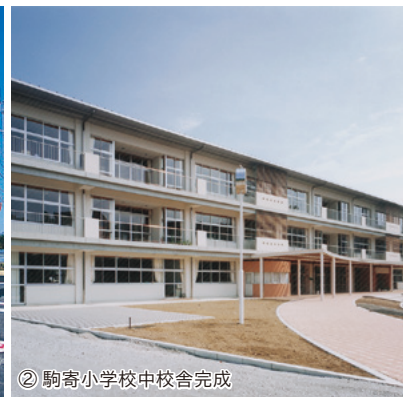
① 地域福祉交流施設(よしおかROBAROBA)開所



④ 上野田ふれあい公園完成



③ 駒寄スマートIC社会実験開始



② 駒寄小学校中学校舎完成



⑪ 三津屋古墳復元



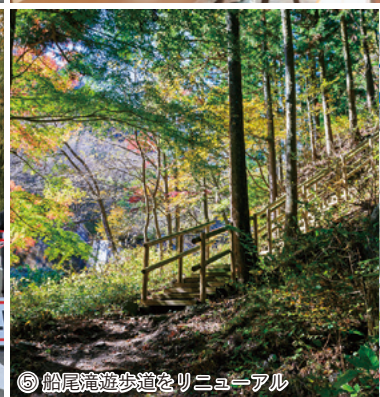
⑧ 南下古墳群 県指定史跡に指定



⑦ 町制施行30周年記念式典



⑥ 一般県道南新井前橋線バイパス(3期工区)開通



⑤ 船尾滝遊歩道をリニューアル



⑧ 主要地方道高崎渋川線バイパス(2期工区)開通



⑦ 町制施行20周年記念式典



⑥ 道の駅よしおか温泉開業



⑤ 国道17号前橋渋川バイパス新坂東橋開通

2002-2012

● 北下南下地区農業集落排水供用開始

● 三津屋古墳復元①

● 保健センター業務開始

● 利根川自転車道町内開通

● 榛東村・吉岡町任意合併協議会設立

● 駒寄スマートIC社会実験開始③

● 榛東村・吉岡町任意合併協議会解散

● 吉岡町次世代育成支援行動計画策定

● 国勢調査(人口18,060人・戸数5,560戸)

● 上野田ふれあい公園完成④

● 駒寄スマートIC本格運用開始

● ふれあいやすらぎ公園完成

● 自治会制度開始

● 塔之辻貯水池改修

● よしおか温泉リゾートピア吉岡改装

● 国道17号前橋渋川バイパス新坂東橋開通⑤

● 道の駅よしおか温泉開業⑥

● 小倉地区農業集落排水供用開始

● 南下古墳公園完成

● 国勢調査(人口19,801人・戸数6,530戸)

● 吉岡中学校中学校舎完成

● 第5次吉岡町総合計画策定

● 吉岡中学校体育館建て替え

● 北海道大樹町と友好都市協定締結

● 町制施行20周年記念式典⑦

● 人口2万人達成

● 主要地方道高崎渋川線バイパス(2期工区)開通⑧

● 国土調査法に基づく地籍調査事業を開始

● 吉岡町障害者計画策定

● 吉岡町ファミリー・サポート・センター事業を開始

● 駒寄スマートIC大型車対応化事業を開始

● 吉岡町城山みはらし公園設置事業を開始

● 一般県道南新井前橋線バイパス(1期工区)開通

2013-2023

● 駒寄小学校特別教室棟(北校舎)完成

● 橋梁長寿命化修繕計画策定

● 吉岡町健康づくり計画策定

● よしおかほっとメール運用開始

● 町民プールの営業を終了

● 吉岡町社会体育館改修

● 国勢調査(人口21,080人・戸数7,289戸)

● 消防団無線機デジタル化完了

● 議会中継を開始

● 都市計画マスタープラン改定

● 明治小学校特別教室棟(南校舎)完成

● 地域福祉交流施設(よしおかROBAROBA)開所①

● 文化財センター開所

● 主要地方道高崎渋川線バイパス全線開通②

● 立地適正化計画を公表

● 吉岡風力発電所が廃止され跡地にモニュメントを設置

● 吉岡町男女共同参画基本計画策定

● 城山みはらし公園完成③

● 森田家住宅 町指定重要文化財に指定

● 駒寄スマートIC東側的大型商業施設関連の都市計画変更

● 吉岡中学校東校舎完成

● 駒寄小学校体育館完成④

● 吉岡町学校ICT環境整備計画「HIBARIプラン」策定

● 子育て世代包括支援センター開設

● 主要地方道高崎渋川線バイパス4車線化

● 船尾滝遊歩道をリニューアル⑤

● 国勢調査(人口21,792人・戸数7,863戸)

● 一般県道南新井前橋線バイパス(3期工区)開通⑥

● 駒寄スマートIC大型車対応化事業が完了し、運用開始

● 町制施行30周年記念式典⑦

● 一般県道南新井前橋線バイパス(2期工区)開通

● 第6次吉岡町総合計画策定

● パートナシップ制度開始

● 防災行政無線デジタル化完了

● 吉岡町学校教育推進計画「HIBARIプラン」改定

● 南下古墳群 県指定史跡に指定⑧

● ゼロカーボンシティ宣言を表明

前 橋市や高崎市のベッドタウンとして注目されている吉岡町。駒寄スマートインターチェンジ周辺の商業エリアには、大型ショッピングパークをはじめ、スーパーマーケットや家電量販店など、さまざまな施設が新たに建設されました。そこで、新しい吉岡町の姿を空撮写真とともに紹介します！

New Town よしおが 《より暮らしやすいエリアを紹介》

4 駒寄スマートインターチェンジ



関越自動車道の前橋インターチェンジと渋川伊香保インターチェンジのほぼ中間にある駒寄パーキングエリアに併設されています。大型車を含む車長 16.5 メートル以下の車に対応した 24 時間スマートインターチェンジで上下線共に利用可能です。(写真／下り)

3 家電量販店



2 大型ショッピングパーク



1 スーパーマーケット



5 住宅展示場



大型店が立ち並ぶ駒寄スマートインターチェンジ周辺



駒寄スマートインターチェンジ東側周辺はショッピングゾーンとなっており、大型商業施設が並んでいます。食料品、日用雑貨、衣料品、電化製品など、暮らしに必要なものは町内でそろいます。便利で暮らしやすい環境が魅力となっており、町外からの転入者も増加しています。豊かな自然と子育て環境、住環境が充実しているため、子育て世代にも暮らしやすい町です。

住みよし！

快適な暮らし。



伊香保温泉との回遊性により観光面にも期待される高崎渋川線バイパス



上武道路と接続する前橋渋川バイパスの新坂東橋



県都前橋に通じる上毛大橋



写真●天神東公園



Good!
住みよし！
よしおか
TOWN YOSHIOKA

ICT（情報通信技術） を活用した教育

国のGIGAスクール構想に伴う、1人1台端末の整備活用事業を「HiBALIプラン」と名付け、推進しています。児童・生徒に端末を配布、学習用ソフトを導入し、全教室に大型モニターを設置しています。授業や家庭学習においてICT環境を日常的に活用しています。



新しくなった！ 駒寄スマートインターチェンジ

関越自動車道の前橋インターチェンジと渋川伊香保インターチェンジの間にある駒寄スマートインターチェンジは、県内や首都圏、観光地を結ぶ町内の交通の要の一つです。令和3年7月からはETCを搭載した車長16.5メートル以下の車が可能となり、大型車対応のスマートインターチェンジへと生まれ変わりました。（写真／上り）

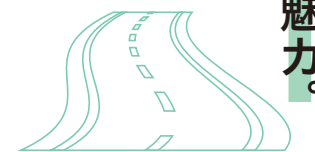


住みよし！

アクセスが良く、どこへ行くのも便利。

吉岡町は群馬県のほぼ中央に位置しており、県庁所在地の前橋市に隣接し、群馬県を代表する都市である高崎市とも近隣に位置しています。高崎市と渋川市を結ぶ高崎渋川線バイパス、前橋市へとつながる南新井前橋線、国道17号前橋渋川バイパス、伊香保と前橋市を結ぶ前橋伊香保線（吉岡バイパス）などの幹線道路が開通しており、県内の主要都市へのアクセスが抜群です。さらに、関越自動車道の駒寄スマートインターチェンジで高速交通網ともつながることから、県内だけでなく県外へも気軽に出かけられます。

暮らしやすさは吉岡町の大きな魅力。
全国的にも非常に高い
人口増加率を維持しています。



自然と人が
創りあげた
**吉岡町
の特産品**
town yoshioka's special products

- 船尾まんじゅう
- おっきりこみ
- 地酒
- ぶどう
- トマト
- まいたけ
- こけし

トマトやまいたけなどの農産物や農産加工品、地酒も町の特産品として知られています。道の駅よしおか温泉の物産館かざぐるまでは、地域の新鮮な農産物はもちろん、地元で人気のお土産も販売しています。群馬県の郷土料理としても有名なおっきりこみは、幅の広いもちもちとした麺が特徴です。町内には、醤油ベース以外にも担々麺風やカレー風など個性的なものを提供するお店や、おっきりこみの専門店もあります。



食よし！

道の駅物産館に並ぶ特産品の数々。



Good!
食よし！
よしおか
TOWN YOSHIOKA

写真●小倉乾燥芋



★
吉岡の飲食店を
CHECK!
おっきりこみマップ
QRコード
テイクアウトマップ
QRコード
★

船尾 まんじゅう



道の駅よしおか温泉の中にある船尾まんじゅう直売所では、地元の有志による団体が手作りしたできたての「船尾まんじゅう」がお土産として人気です。優しくて素朴な味わいで、懐かしさを感じていただけます。小豆あん、チンゲン菜あん、なす味噌あんの種類があります。



乾燥芋

芋のうまみを最大限に活かした丸干しの肉厚な乾燥芋は全国でも珍しく、外側の歯ごたえとねっとりとした自然の甘みは絶品です。



インタビュー



乾燥芋生産者 小林さん夫妻

小倉地区は「農林5号」という白いお芋の品種が特産品だったのですが、寒さに弱く貯蔵性が悪いため、栽培には技術が必要でした。私の農家では黄色のお芋を乾燥させたものを直販という形で販売しています。地区全体でも黄色のお芋を育てている農家さんが増えてきました。吉岡の大地で育って太陽に照らされて風で乾くというように、吉岡の自然のなかで

作られるおいしさを大切に、消費者の方に美味しいと思ってもらえることを第一としています。最近は町内に乾燥芋づくりに興味を持ち、世の中に広めたいと思っている若者が増えていて聞いていたので、全国的に有名な特産品として認知してもらえよう、今後も作り続けていきます。



小倉ぶどう郷には8軒のぶどう農園が広がり、巨峰やデラウェア、シャインマスカットなどの有名品種からお店ではあまり見かけない珍しい品種までさまざまな種類のぶどうを栽培しています。

小倉地区特産の「小倉乾燥芋」。サツマイモの皮をむいてセイロで蒸し、群馬県特有の「空っ風」の力を借りて干し、あめ色に熟成された乾燥芋です。外はしっかりと歯ごたえ、口に含むとねっとりとした自然の甘みを楽しんでいただけます。芋をまるごと乾燥する丸干しはとても珍しいと根強い人気です。

小倉地区の夏の特産品はぶどうです。吉岡町は榛名山南麓に位置しているため日照時間が長く、その水はけの良い土壌はぶどう栽培に適しています。夏から秋にかけて県内外から多くの人々が、小倉ぶどう郷を訪れます。太陽の光をいっぱい浴びて育ったぶどうは、「甘くて美味しい」と好評です。

食よし！

味自慢の特産品、乾燥芋とぶどう。



吉岡町には特産品が数多くあります。中でも乾燥芋とぶどうは、県内屈指の産地。品質の良さで人気です。



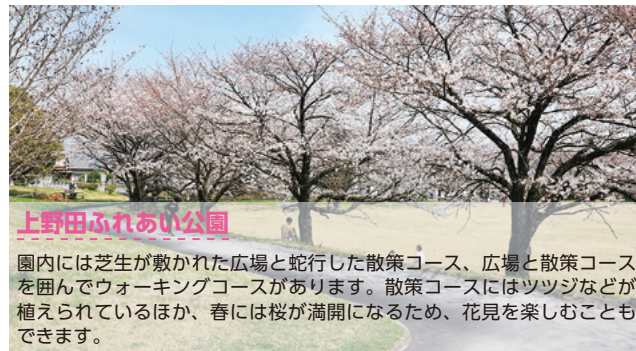
船尾像



天神東公園



船尾滝遊歩道



上野田ふれあい公園

園内には芝生が敷かれた広場と蛇行した散策コース、広場と散策コースを囲んでウォーキングコースがあります。散策コースにはツツジなどが植えられているほか、春には桜が満開になるため、花見を楽しむこともできます。



城山みはらし公園

南北朝時代の武将桃井直常が築城したと伝えられている桃井城跡でもあり、さまざまな楽しみ方ができます。桃井城の物見台があったとされる前方後円墳型の古墳広場からは、朝夕時間を問わず眼下に広がる街並みを楽しめます。



写真●利根川自転車道



榛名山の南東側から利根川に向けて長く広がる吉岡町は、町内での標高差が800メートルにもなります。滝沢川の上流を目指して町の最西端まで上つていけば、町が誇る名瀑・船尾滝にたどり着きます。約72メートルの高さから落下する滝の姿が美しい町の名所です。滝まで約20分の遊歩道は、山の空気を感じながらのハイキングにおすすめです。秋になると周囲の木々が色づき、紅葉の中を散策することができます。

榛名山麓の自然を満喫する。

憩いよし!



絶景なのに、意外と知られていない「穴場スポット」もあるかも。



城山みはらし公園からの夜景

町一帯を見渡すことのできる城山みはらし公園の頂上。夜になると町に明かりが灯り、きれいな夜景を一望できます。



滝から赤城山を望む眺望

船尾滝から見る赤城山は絶景で、山の裾まで見ることができます。



紅葉に包まれた船尾滝

夏は新緑、秋は紅葉と季節ごとに顔を変える船尾滝。緑から赤、黄色とその時にしか見ることのできない景色をお楽しみください。



リポートピア吉岡



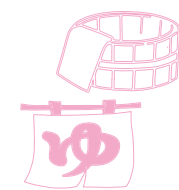
緑地運動公園

利根川河畔には、家族で一日楽しめる複合施設型の道の駅「よしおか温泉」があります。露天風呂やレストランなどを完備した日帰り天然温泉施設リポートピア吉岡をはじめとし、地元農家が作った採れたての新鮮野菜や果物、特産品でいっぱい

物産館かざぐるま、旅の疲れを癒やす足湯、車中泊ユースに嬉しいRVパークなど魅力ある道の駅となっています。ケイマンゴルフ場、パークゴルフ場などを備えた緑地運動公園も併設され、広く開放的な環境でスポーツを楽しめます。

憩いよし!

利根川沿いに広がる楽しみ。



榛名山麓のなだらかな傾斜地に広がり、赤城山を目の前に望む吉岡町。四季折々の豊かな自然が町の暮らしを包み込みます。

受け継ぐ伝統②

伝統 芸能

- Traditional Art -

吉 岡町には、古くから伝わる伝統芸能がたくさんあります。伝統芸能は、保存会の人々により大切に守り継がれています。季節のイベントや町民文化祭などで披露され、町の歴史を感じることが出来ます。

●春祭り 4月に、町内に神社でそれぞれ行われる春祭り。中でも南下下八幡宮・上八幡宮・溝祭三宮神社では、町指定重要無形文化財である獅子舞が奉納され、今年一年の豊作と健康を祈願します。

受け継ぐ伝統①

祭

- Festival -

子 どもから大人まで楽しめるふるさと祭りやマルシェなどのイベントや、伝統の年中行事が行われています。地域のふれあいと町の活力を育み、町民たちの交流の場にもなっています。

●ふるさと祭り 町内の各種団体が出店し、町内の子どもや家族などでにぎわいます。

新しい郷土芸能



上州吉岡船尾太鼓

平成3年の町制施行と共に誕生し、約30年の歴史があります。メンバーは日々練習に励み、吉岡町の新しい郷土芸能にしたいと頑張っています。大迫力の太鼓の演奏は圧巻です。



三宮神社太々神楽

江戸末期に完成したといわれ、太々神楽三楽講が継承しています。



大久保屋台囃子

大久保の鎮守三宮神社に屋台とともに奉納する勇壮な囃子です。

どんど焼き

1月の上旬から中旬にかけて各地区で行われます。地区ごとにやぐらや風習が異なり、それぞれに特色があります。



住民同士の交流や地域のつながりを深めるイベント

秋には「よしおかふるさと祭り」が盛大に開催されます。会場には町内の各種関係団体のブースが立ち並び、模擬店や体験コーナー、自衛隊、警察、消防などの車両展示も行われるほか、友好都市である北海道大樹町の特産品なども販売されます。子どもから大人まで、みんなが楽しめる催しで、毎年大勢の人が来場します。

古くから伝わる季節の伝統行事も守り継がれています。長松寺境内で毎年1月14日に開かれる「矢落観世音」は別名「ざる観音」の名で親しまれ、さまざまな露天が出る縁日です。船尾山の伝説に由来し、昔はここで養蚕道具を買い求めたといわれています。春には、町内の神社で春祭りが行われます。

よしおか 大獅子舞

よしおか3大獅子舞は平成15年に町指定重要無形文化財に指定されています。



大藪獅子舞

大永3（1523）年桃井播磨守が守刀とともに八幡神社に奉納したのが始まりと伝えられています。頭が獅子ではなく竜であるのが特徴です。



溝祭三宮神社獅子舞

天正年間からあったと伝えられています。また、雨乞いの獅子舞としても有名です。



下八幡宮獅子舞

慶長年間以前からあったと伝えられており、頭は、桐の巨木の掘りぬきで、開いた口から顔が見える作りが特徴です。

インタビュー



溝祭獅子舞保存会会長
小村さん

溝祭獅子舞は天正年間の約450年前から受け継がれている吉岡町の文化で、現在は4月の春祭りをメインに町内の各イベントに出演しています。獅子舞の頭には鳥の羽が使われることが多いのですが、溝祭では馬の毛が使われているので頭に重量感があり、踊りもゆったりと優雅であるのが特徴です。口伝で受け継がれているので、すでに絶えてしまった唱歌や舞があるのは残念です。しかし今はDVDに保存したり、簡単に動画を送り

合ったりすることもできるので、今できる方法で溝祭獅子舞が受け継がれていくよう努力しています。日本人がこれまでに受け継いできた唱歌や舞はもっと世界に誇るべきものだと思っているので、時代が流れていく中でも続けていくことが大事だと思っています。



ざる観音の歴史

吉岡町に古くから伝わる「ざる観音」は、船尾山にあった寺院が焼き討ちにあった際、僧侶が観音様を結んで矢を放ち、その矢が漆原新田まで飛び、桑を摘んでいた少女のざるの中に入ったという伝承から始まりました。観音様を祀って、江戸時代にお堂が建てられ、「ざる観音」として今日まで祀られています。

しんきちマルシェ

北群馬郡を盛り上げようと、隣接する樺東村と合同でマルシェを開催しています。地域の飲食店の出店や、作品制作の体験プログラムなどがあります。



紡ぐ1

すべての住民に優しい
健康・福祉施策の充実

子ども・子育て支援の充実
児童保育施設をはじめ保育施設環境の充実を目指しています。保護者の子育てに対する不安や悩みの負担軽減の

健康づくりの推進
町民一人一人が、健康で豊かな生活が送れるよう生涯に渡った健康づくりを推進しています。教室や相談会などを通して、妊娠・出産・子育てにおける悩みの解消、食生活の改善や運動習慣の獲得、こころの健康の維持などに取り組んでいます。

地域福祉の推進
地域生活の課題について、関係機関と連携して対応するほか、相談窓口の周知・機能の充実など、包括的な支援体制の強化に努めています。また、社会福祉協議会および地域包括支援センターと連携し、見守り活動による多面的支援にも力を入れています。

子どもたちの夢を育て、ゆとりを持った子育てができる環境づくりを推進し、どんな人もいきいきと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。必要な時に必要な支援が得られるよう整備を進めています。

社会福祉体制の充実
子ども、母子・父子家庭や一定の障がいのある人などの医療費の自己負担分を助成しています。各種保険制度を通じて、平等に医療や介護が受けられる体制を整えています。また、生活困窮世帯を支援するために、関係機関と連携し横断的に対応しています。

障がい者福祉の充実
障がいのある人が地域社会で確立した生活が送れるよう、関係機関と連携し、適切なサービスの提供体制を整えています。また、住宅のバリアフリー化への補助や障がいへの理解を深めるための取り組みを進め、あらゆるバリアの解消に努めています。

高齢者福祉・介護の充実
高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、生活支援サービスの充実を図っています。介護予防教室の開催や介護予防サポーターなどの育成も進行中です。

ために、子育てに関する相談を受け付けています。

第6次
吉岡町総合計画

新たな時代潮流、社会環境、町の強みと課題、町民ニーズなどを踏まえ、長期的な視野に立つまちづくりの指針として第6次吉岡町総合計画を策定しました。

《目指す将来像》

思いを紡ぎ、未来につなげる まちづくり 吉岡

将来像を実現するために、全ての施策・事業に共通する3つのまちづくりポリシーを示します

(1)
ブランド力と郷土愛

吉岡町の価値をあらゆる分野で向上させ、自らの町であり、ふるさとであるという郷土愛を育みます。

(2)
ダイバーシティ

新旧住民、年代、性別、国籍などにこだわらず、吉岡町民として多様性を受け入れる風土を築きます。

(3)
持続可能性

先人が築き、育ててきた、この豊かな吉岡町を、次世代により良い姿でつないでいきます。

SDGsをふまえた



6つの基本目標

つむ
紡ぐ



SDGsとは？

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、世界中で積極的に取り組まれています。

1 健康・福祉

すべての住民に優しい
健康・福祉施策の充実

2 教育・文化

「学びのまち・吉岡」
の推進

3 生活環境

次世代につなげる
生活環境の充実

4 地域産業

地域産業の
持続的発展支援

5 安全

緊急時対応への
備えの充実

6 行財政

将来を見据えた
行財政運営の推進



紡ぐ3

次世代につなげる 生活環境の充実

道路、公園、上下水道、公共施設など、多くの人が利用する公共財産を有効活用するため、利便性の向上と長寿命化に積極的に取り組み、計画的な都市づくりを促進しています。また、公共交通の利便性や定住環境の向上を図り、住民の生活の質がより良くなるよう尽力しています。

道路・公共交通の充実

駒寄スマートインターチェンジと周辺地域の連携強化を図るため、都市計画道路の大久保上野田線（吉岡バイパス）の延伸事業について、関係自治体との連携により推進します。地域の要望を中心とした生活道路の整備を進めるとともに、渋滞や危険箇所解消のための道路整備を行っています。また、既存駅の有効活用とともに、路線バスなどの公共交通の利用者拡大を図っています。

適正な土地利用

都市計画法による土地利用制限などにより、人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりを進めています。また、駒寄スマートインターチェンジ周辺を産業・工業・流通・商業の「複合拠点」と位置づけ、計画的な土地利用に取り組んでいます。

上下水道処理施設の整備

安全でおいしい水を安定供給するための水道施設の維持・更新を行っています。下水道では施設の計画的な改築・更新を行い、また、合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することで、河川の水質の保全に努めています。

住環境・公園などの維持・確保

安全で快適な公園利用のために、遊具などの点検を行い、危険性や不具合の改善に迅速に対応するとともに、中長期的な観点から、効率的な維持管理に向けた対策を行っています。地域の魅力向上やにぎわいの創出につなげることをテーマに、公園施設の再整備に向けて取り組んでいます。

環境問題への対応

令和5年、2050年までにCO2（二酸化炭素）排出量を実質ゼロにすることを目指す「吉岡町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。気候変動対策やごみ減量化、リサイクル率の向上に取り組んでいます。

多文化共生社会の実現

社会情勢や人口増加を背景に住民の多様性が広がるなか、町では、住民の誰もが尊重される環境整備に努め、男女共同参画意識の高揚を図るとともに、外国人を温かく迎えるまちづくりのために、町のホームページや道の駅などの表記の多言語化を進めています。

生涯学習・スポーツ・文化活動の推進

生涯学習および文化活動では、ホール事業や映画上映など芸術文化鑑賞の機会を提供しています。文化団体や愛好会の活動場所として文化センターが活用されるとともに、各種講座を通して、町民が講師となり「生きがい・人とのふれあい」の場づくりを行っています。スポーツ活動では、各種大会の参加者の増員やスポーツがしやすい環境づくりに努めています。これら生涯学習・文化活動・スポーツの推進を図りつつ、町民の心豊かな時間を提供しています。

学校教育の充実

児童・生徒が主体となる学校教育を目指し、「主体的・対話的で深い学び」や、「学習者がアウトプットする授業」、「探究的な学びを見据えた授業」を行っています。個別に悩みを抱える児童・生徒のため、教育支援センターの取り組みを進めています。増加傾向にある児童・生徒数などの動向を踏まえ、より快適な学校生活環境を実現するために、教育施設の整備や維持、補修に努めています。学校給食センターでは、児童・生徒に安全・安心でおいしい給食を提供し、子どもたちへの食育活動を行っています。



紡ぐ2

「学びのまち・吉岡」 の推進



紡ぐ5

緊急時対応への 備えの充実

大規模自然災害や感染症など、あらゆる危機に対応できる強靱な体制を構築し、日常における防災・防犯・交通安全活動を充実させることが重要です。災害が起きても被害を最小にとどめ、受けた被害から迅速に回復するしなやかさを備えることを目指すとともに、交通事故や犯罪の少ないまちづくりを進めています。

消防・防災体制の充実

災害ハザードマップを全世帯に配布し、日頃からの「自助」の意識向上を図っています。また、自主防災組織が行う防災訓練などを積極的に支援し、「共助」の要となる地域の防災力向上にも努めています。消防体制の充実のため、消防団と浜川広域消防の連携を強化し、多様な災害を想定した訓練に取り組むとともに、消防団員が活動しやすい環境の整備を図り、女性消防団員を含む新たな団員の確保に努めています。

防犯・交通安全対策の充実

交通事故減少のために、小・中学生に対して、警察や交通安全関係団体と連携しながら、より効果的な交通安全教室の開催に取り組んでいます。また、



自転車ヘルメットの着用や自転車保険加入を促進するなど、保護者も対象に交通安全啓発活動を行っています。通学路の安全確保については、危険箇所を学校や関係機関と合同点検し、通学路交通安全プログラムに基づく対策を進めています。また、高齢者に対して、運転免許自主返納支援事業を行い、交通事故未然防止に取り組むとともに、公共交通の利用を促しています。防犯においては、複数の関係団体が、町内の防犯パトロールを行い、防犯啓発と犯罪防止を図っています。また、通学路付近だけでなく、過去の犯罪発生状況を考慮して、より効果的な場所に防犯カメラ・防犯灯を設置しています。

紡ぐ4

地域産業の 持続的発展支援



都市化に伴い農地の減少が進むなか、幹線道路では、沿道立地型の商業施設の建設が進んでいます。農業の持続的かつ健全な発展を図りながら、企業誘致や創業支援を行い、若者や女性も働きやすい環境づくりに努めています。観光については、新たな観光資源の発掘、既存の文化遺産をはじめとした地域資源の活用を行い、近隣・広域での観光ルートの拠点化を進めています。

農林業の振興

農地利用の集積・集約化を進め、遊休農地の発生防止と解消に取り組んでいます。町における農産物の特性を活かし、消費者にとって価値の高い農産物への改良や、AIの活用による低コストで高品質なものの生産など、さまざまな取り組みの導入を支援していきます。また、森林の保全・確保にも努めています。

商工業の振興

にぎわいと活力のある商工業の振興と安定した雇用の場の創出は、持続可能なまちづくりの礎となるものです。町は、恵まれた立地条件と地域の特性

観光の振興

町は、文化財をはじめ、豊かな地域資源を持ちます。町の魅力を広く伝えるため、ホームページや各種発信媒体を通じて、積極的に情報発信をするとともに、隣接する自治体と協力して観光イベントを計画するなど、県内外へ町の魅力を発信しています。



を活かす広域的幹線道路のネットワークを強みに、大型商業施設の進出と企業の誘致に力を入れています。また、中小企業者への支援についても多角的に進め、持続的な経営安定と経営基盤の強化のための各種支援策の充実を図り、その成長を後押ししています。企業誘致や創業支援を通じて、新たな雇用創出と多様な雇用機会を提供できるよう努めるほか、就職に向けた専門知識や技能習得を支援しています。



子ども交流事業

平成25年から、町内の小学生が大樹町を訪れ、自然体験や宿泊体験をしています。

平成20年度から物産交流がスタートしていた北海道大樹町と、お互いの信頼と理解を深めるとともにこれまでの友好関係をさらに推進するため、平成23年度に友好都市協定を結びました。以降、道の駅よしおか温泉にある物産館がさぐるまでの物産販売やお互いのお祭りへの参加協力のほか、子ども交流事業など、組織的な交流も活発に行われています。

大樹町

大樹町は北海道の東部、十勝の南に位置し、東は太平洋、西は日高山脈に接しています。中央部は広大な十勝平野が広がり、農業を中心に漁業、林業を基幹産業として発展してきました。

日高山脈から日本一の清流「歴舟川」がまちを流れ、海岸には原生花園が広がり、美しい自然に恵まれています。町名は、アイヌ語で「大木が群生するところ」を意味する「タイキウシ」に由来します。

紡ぐ6

将来を見据えた 行財政運営の推進



地域活動の活性化を促進し、町政と住民がともに力を合わせた協働のまちづくりを推進しています。住民の利便性向上に向けてデジタル社会に対応したスマート自治体への変化を図り、知恵と行動力で未来を見据えた堅実な行財政運営に努めています。

協働のまちづくりの推進

自治会の財政面での支援を継続的に、自治会活動の推進を図っています。また、ポイント事業などを通して、ボランティア活動を支援しています。行政情報の発出に当たっては、誰もが見やすく分かりやすい町広報誌の発行と、ホームページの作成を目指しているほか、SNSなどを活用し、情報発信力の強化に取り組んでいます。また、企業との包括連携協定の締結など、官民共創を進めています。

健全な行財政の推進

健全な財政運営とともに、自主財源の確保に向けた取り組みを進めています。行政改革を進め、支出の適正化を図り、目標管理に基づく行政経営に努めています。

デジタル化の推進

デジタル技術の恩恵を全ての人が享受できる社会の実現が求められるなか、町は、「誰一人取り残さないデジタル化の推進」に取り組んでいます。証明書などのコンビニ交付サービスを行うほか、マイナポータルおよび電子申請システムを活用した、行政手続きのオンライン化を通じて、住民の利便性向上を図っています。情報セキュリティの確保に留意し、住民ニーズと行政の事務処理効率化を踏まえたマイナンバーカードの利活用に取り組んでいます。





三宮神社

大久保の鎮守。天平勝宝2(750)年勧請と伝えられています。毎年春の例祭では獅子舞や太々神楽が奉納されています。
▲大久保 1-1

よしおかの文化財図鑑



三津屋古墳(県指定史跡)

全国でも珍しい八角形の古墳です。葺石や墳丘の稜角が良好に残っています。復元整備した八角形墳は、全国で本古墳を含め2例しかありません。
▲大久保 2037-1



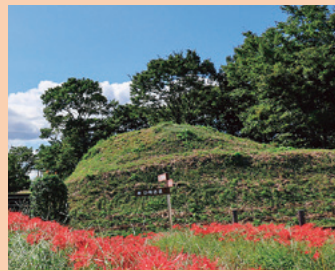
佐渡街道 道しるべ

江戸時代に栄え、佐渡奉行が往来した佐渡街道。この道しるべは伊香保街道との分かれ道の目印のために建立されました。「右桑ちご 志ぶ川」「左いかほミづさハ」と刻まれています。
▲大久保 2338-2



三国街道 一里塚

徳川幕府が街道一里ごとに塚を築き榎を植えさせ、旅人に里程の目印と涼と憩いの場とさせたと言われています。現在の榎は昭和初期に植え替えたものと言われています。
▲上野田 363-1



南下古墳群(県指定史跡)

南下に所在する6基の古墳の総称です。石材加工の際に引いた朱線や漆喰を塗った跡が1300年以上経った今でも残っている古墳もあり、学術的に高い価値があると認められています。
▲南下 1320-2



馬場重久の墓(県指定史跡)

馬場重久は、農具蚕具の改良と桑の新品種改良などに努めました。正徳2(1712)年に著した「蚕養育手鑑」は、県内初の養蚕手引書と言われ、養蚕家の手本となりました。
▲北下 329-1



万葉歌碑

日本最古の歌集である「万葉集」に、榛名山麓の人々がうたった歌が9首載っています。そのうちの1つが「伊香保呂の八坂の井堤に立つ虹のあらわるまでもさ寝をさ寝てば」です。
▲上野田 3358-2



森田家住宅(野田宿本陣)

江戸時代に整備された伊香保街道沿いの宿場、野田宿。森田家はその本陣として重要な役職を務め、高野長英や渡辺崋山などそうそうたる文化人が訪れました。
▲上野田 677



吉岡町へのアクセスはこちら！

吉岡町デジタルガイドブック
[feel! よしおか]はこちら！



吉岡町観光情報の
ホームページはこちら！

町の木「イチチョウ」

周遊吉岡町のスポット

自然にあふれた吉岡町には、絶景・温泉・歴史などココでしか味わえない魅力が詰まっています。高崎や前橋とのアクセスも良く、日帰りで遊びに来るにはちょうど良い場所。そこで吉岡の魅力を堪能できるスポットをいくつか紹介します。ぜひ訪れてみてください。



緑地運動公園

世代を超えて楽しめるスポーツ広場です。利根川の河川敷にある広々とした敷地で、ケイマンゴルフやパークゴルフ、グラウンドゴルフの3種類のゴルフとテニスが楽しめます。
▲漆原 2004



道の駅よしおか温泉

お食事もできる温泉施設リバートピア吉岡、緑地運動公園、物産館かざぐるまなどからなる滞在型の複合施設です。無人管理の車中泊用スペース、RVパークもあります。
▲漆原 2004



漆原しだれ桜並木

県道利根川自転車道(サイクリングロード)に植えられたしだれ桜並木。道の駅よしおか温泉に隣接しているので、サイクリングで汗を流したあとに温泉に入るのもおすすめ。
▲漆原 2004



城山みはらし公園

およそ38,000㎡もの大きさで、東西に長い公園です。頂上からは町が一望でき、昼も夜も絶景です。南北朝時代の武将桃井直常が築城したと伝えられている桃井城跡でもあります。
▲南下 172-1



船尾滝

アスファルトで舗装された林道と、自然の姿を残した遊歩道の2種類のルートで登っていくことができます。滝を眺める場所からは、前橋の街並みと赤城山が望めます。
▲上野田



船尾自然公園

船尾滝の駐車場に向かう車道沿いには、桜やあじさいが植えられ、季節によって楽しめます。炊事場や囲炉裏がそろったバーベキュー広場では、自然の中でバーベキューをすることができます。
▲上野田 3160-1 (バーベキュー広場)



上野田ふれあい公園

園内の広場は一面芝生で周囲にウォーキングコースがあります。春には花見を楽しむこともできます。住民参加型ワークショップから生まれた遊具には数種類のすべり台が付いています。
▲上野田 1256-23



小倉ぶどう郷

小倉地区のぶどうは、町の夏の風物詩です。生産者が一房一房に愛情を込めて、丁寧に育てています。試食をした後、ぶどうの収穫体験ができる園もあります。
▲小倉(地区内に農園が点在しています。)



吉岡町の詳しい観光ガイドマップはこちらの二次元コードからご覧ください。



町章 |

豊饒円満な郷土を意図し、吉岡町の頭文字を円形に図案化したものを中心とし、本町随所に見望する古墳群の古代文化を象徴して石の鏃を三方に配したものです。三個の鏃は上毛三山を表現し、さらに三つの前進方向、より美しく、より明るい郷土と人づくり、より高度な住民福祉、より豊かに調和のある生活環境の整備を意図するものであって、古い伝統と美しい自然の中に育まれてきた吉岡町の清新気鋭な町づくりを表現しています。(昭和60年3月20日)

核兵器廃絶平和の町宣言 |

私たち吉岡町民は、町民憲章の精神にのっとり全世界から核兵器を廃絶し、平和で心豊かな生活を願い、ここに「核兵器廃絶平和の町」を宣言します。(平成7年12月21日)

吉岡町民憲章 |

めぐまれた自然と、輝かしい歴史と伝統にはぐくまれたわたくしたちは、平和で心豊かな生活を願い、吉岡町民としての自覚に基づき、ここにこの憲章を定めます。

1、体をきたえ、健康で明るい家庭をつくりましょう。

1、働く喜びを知り、技術をみがき、町の発展につとめましょう。

1、礼儀を正し、きまりを守り、住みよい町をつくりましょう。

1、老人を敬い、子供らの夢を育てる、ふれあいの町をつくりましょう。

1、伝統を守り、知識をひろめ、文化の発展につとめましょう。

(昭和60年3月20日)



●町の花「きく」



●町の木「イチョウ」



●町の鳥「ヒバリ」

よしおかで遊ぶ！ 観光マップ

YOSHIOKA Guide Map



吉 岡 町 勢 要 覧

発行●令和 6 年 10 月 1 日 企画・編集●吉岡町企画財政課
〒 370-3692 群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田560 番地
TEL.0279-54-3111 (代表) FAX.0279-54-8681
<https://www.town.yoshioka.gunma.jp>
デザイン・印刷●朝日印刷工業株式会社